

職員に関すること

意見・質問・要望等

クリーン作戦(2回/年)は、角田市民全員でとなっており、市役所の職員も全員参加すべきではないか。その姿勢を見せれば不法投棄防止にもつながると思うが。【西根自治センター】

当日の回答

強制はできませんが、持ち帰り検討させていただきます。

当局・議会回答

業務命令とすれば、仕事となってしまいますので、強制的な対応はなかなか難しいと考えます。しかし、市として協働のまちづくりを進めており、市民である市職員もその趣旨に則り行動することは大変重要なことでありますので、引き続き、その視点に立って参加を促していきます。【総務課】

職員に関すること

意見・質問・要望等

市職員のモラル(接客、服装、頭髪)が低下しているのではないかと。市民の模範となるべきであり襟を正すべきである。【西根自治センター】

当日の回答

平成28年2月の定例会で対応させていただきます。

当局・議会回答

目につく職員がいたとすれば、大変申し訳ないことと思います。これまで、市職員のモラル向上に向けた取り組みとしては、服務規程の励行のほか接客に係る研修や「さわやかマナー角田」を定め実行するなど、モラルの向上に努めてきております。今後改めて、これらの周知の徹底を図るとともに、進行管理を行ってまいります。【総務課】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

宮城県内に道の駅はいくつあって、黒字になっているのはいくつあるのか。【西根自治センター】

当日の回答

詳細の資料はありませんが、赤字黒字の判定基準で、県内の道の駅の決算書に目を通したことがあり、その中で赤字を決算している所は無いと思います。管理委託費も含め公から金を出し、数字上で赤字にならない仕掛けがあります。問題は公的資金を最小限にして、加工販売で利益を上げ、自立できることが重要であります。

当局・議会回答

県内の道の駅の管理運営会社は、道の駅だけでなく他の施設も管理している会社もあり、一概に黒字、赤字ということはできませんが、どこの道の駅も地域に根ざした活動を展開し、農業生産者や加工品製造者の収入額増加の一助となっています。
角田市に整備する賑わいの交流拠点施設(道の駅)についても、生産者や加工品出荷者、市内商業者と連携を図りながら、黒字経営になるよう、しっかりとした体制を構築し、健全な経営ができるよう計画づくりを進めてまいります。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

補助金目当てではなく、将来を考えた道の駅にしていかなければならないのではないかと。作れば売れるのではなく、売れる物を作る体制が重要と考えるがいかがか。【西根自治センター】

当日の回答

その通りであります。議会としては、反対、賛成を言っているのではなく、施設の管理運営、地域産業活性化策、財源の不安を払拭し議会も納得でき、市民の方々も理解できる内容で要請していますが、現在はその状況に至っておりません。全国には道の駅が1,000店以上あるうち8割が赤字であろうとマスコミの報道もあります。

当局・議会回答

ご意見のとおり、将来に向けた施設運営を目標としております。売れるものをつくり、販売し、収入を上げていき、農地の利活用の増大や農業就業者の育成を進めていきたいと考えています。

施設の整備には多額の資金を要するため、市の一般財源負担を少なくするためにも、国の補助事業の採択は、事業達成のための1プロセスであることをご理解願います。補助事業は、通常5年以内の事業期間で完了することが条件になっていることもご承知願います。

意欲ある農業生産者の育成のための支援措置等について、関係機関とともに検討し、施策を構築していかなければならないと考えていますので、市の所管課、JAみやぎ仙南、宮城県などと連携していきたいと考えています。

また、道の駅での実施事業についても補足いたしますと、自治体の補助事業や委託事業(新商品開発業務や情報発信業務等)を受託するなど、補助事業に取り組んでいるところが多数あります。

自治体からの補助を受けている道の駅が8割というマスコミ報道の詳細は不明ですが、その支出内容が人件費補助なのか業務実施のための補助なのか判断しないと、一概に赤字補てんとは言えませんので、道の駅への補助金＝道の駅は経営赤字ということにはならないことも承知願います。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

ある道の駅では、生産者が高齢化で農産物を出荷できないところもあり、二の舞にならないようにすべきであり、市の足かせになるのでは困る。【西根自治センター】

当日の回答

先を見据え、5年後、10年後に農産物を供給できる体制を構築していくことが必要であります。議会としても、しっかりチェックしていきます。

当局・議会回答

ご意見のとおり、農業就業者は高齢化が進んでいますが、ある一方では若き農業就業者や後継者もおります。肝心なのは、農業で生計を営む方たちの経営をどのように方向付け、市としてどのような施策を展開していくかが重要と考えています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

角田市全体として、後継者問題があり、物を確保するのに厳しい状況にある。市内にも直売所があると思うが、共倒れの可能性もある。十分に議論を重ねて取り組むべきではないか。【西根自治センター】

当日の回答

生産者と十分にコミュニケーションを取りながら取り組んでいかなければならない問題とっております。固定客の呼ぶためには、スポーツ団体等とも連携が必要と考えています。

当局・議会回答

市内の直売所は、生産者自らが販売に携わっているのではなく、売り子を配置して営業していると伺っています。そのほとんどが週末、または、休日営業となっており、売上は悪くはないと聞いていますが、売り子の人件費で、生産者の手取りはそう多くはないと伺っています。

これらの直売所に出荷している生産者の農産物が一同に会し、道の駅の直売所で生産品を販売すれば、販売に従事する時間を生産活動に充てることができ、売り子の人件費も他の出荷者と供出することから、手取り額は増えることが予想されます。

儲かる農業を進めていくことで、後継者の育成や産地形成を進めていくことも可能ではないかと考えています。

ご意見の共倒れは絶対にあってはなりませんので、しっかりした体制作りと支援施策を構築していきます。【道の駅整備室】

農業に関すること

意見・質問・要望等

減反政策で、作物を作らない水田に対し、課税するとの情報がある。また、集積できる場所は平坦地であり、山間地の集積は非常に難しい。さらに、毎年、減反が増えているのが現状である。何を考えているのか国に対して意見してほしい。【西根自治センター】

当日の回答

角田市として大きな問題であり、議会として国に強く要望していきます。農業ビジョンの中で取り組み、要望事項として承ります。

当局・議会回答

税制改正に伴い、中間管理機構を通じた貸し借りには農地の固定資産税の減額、遊休農地には課税が強化されることになりました。遊休農地は中山間地など、条件不利地に多数あります。こうした貸したくても借り手が見つからない農地の所有者が、不利益を被らない仕組みづくりを国が検討をしています。課税強化の対象地については、中間管理機構が借り受ける農地にもかかわらず、貸し付けしなかった場合などに限定されます。

今後、農地利用状況調査、農地意向状況調査を通し、適正な運営をしていきます。【農業委員会】

不法投棄・ごみに関すること

意見・質問・要望等

不法投棄を摘発した例はあるのか。【西根自治センター】

当日の回答

あります。平成27年に市内で不法投棄をした者が逮捕されています。

当局・議会回答

平成27年6月9日、角田市毛萱の市道脇に雑誌や賞味期限切れの飲料物など家庭ごみ100キロを不法投棄した疑いがあるとして、市外の男性会社員が逮捕されています。記事は平成27年6月11日付けの河北新報朝刊に掲載されました。【生活環境課】

防災に関すること

意見・質問・要望等

災害復旧に土のう袋を使用するが、1、2年でだめになってしまう。応急処置ではあるが、ある程度、耐久性のあるものにすべきではないか。【西根自治センター】

当日の回答

承ります。
平成27年9月関東・東北豪雨の際、西根地区より陳情書が提出されてきました。また、平成27年12月に行われた第380回定例会で災害復旧事業の予算を承認しています。
災害箇所の復旧工事の工期については、区長に説明するよう担当課に伝えます。

当局・議会回答

災害時の応急対応の土のう袋は、緊急的な応急対策であり、短期用として使用しますので、単価が安く取り扱いやすい薄めの袋で、耐久性は余りありません。【防災安全課】

災害復旧用の土のう袋は、ソイル土のうや植生土のう等の耐久性のある材料を使用しています。【土木課】

有害鳥獣(イノシシ)に関すること

意見・質問・要望等

有害鳥獣イノシシ解体場は、蔵王町に続き白石市でも作ったが、角田市、丸森町で作れないのか。解体し、焼却するのは大変である。【西根自治センター】

当日の回答

検討事項として承ります。
この内容につきましては、先の一般質問でも議論をさせていただきましたが、市長答弁として人件費、設備費を考えると費用対効果の面で非常に厳しいです。
また、実際に猟友会の方に伺うと、解体場にお金をかけるより、現実的なことにお金を使った方が良いとの話もあり、難しいとのことです。

当局・議会回答

蔵王町、白石市は、国の事業を活用し解体場を整備していますが、解体後は、角田衛生センターに搬入し焼却することになります。
また、施設の維持、管理・運営には、毎年、人件費を含め多額の費用が必要となるといった課題もあります。
角田市の駆除隊員の話では、1頭丸ごと焼却する施設は別として、多額の費用をかけて解体処分場を建設するのであれば、その費用を別なものに使ってほしいとの意見もあります。
このような状況であるため、新たに建設するのであれば、仙南地域など広域的な範囲で施設を整備することが望ましいと考えており、県に対しても要請していきたいと考えています。【農政課】